

第30回えびす雪あそび合宿報告

長野県菅平高原スキー場

2012. 2. 18(土)～19(日)実施

30回目を迎えたえびす雪あそび合宿。今年(ことし)は合宿(がっしゅく)の3か月前(げつまえ)から活動(かつどう)する実行委員(じっぎん)に加え(くわ)、1か月前(げつまえ)から「雪あそびお助け隊(たすけたい)」という、当日(とうじつ)のプログラム(ぷろぐらむ)をもっと楽しく(たの)するために企画(けいかく)をサポ-トしてくれるメンバー(べんぱー)を募集(ぼしゅう)し、打ち合わせ(うちあわせ)を行(な)ない雪あそび合宿(がっしゅく)に臨(りん)みました。

今年(ことし)は記録(きらく)的な大雪(おほゆき)やインフルエンザ(いんふれんざ)が流行(はやり)しました。そんな中(なか)、今回(こんかい)は長野県(ながのけん)菅平(すがひら)高原(こうげん)に総勢(そうせい)59名(な)で行(い)ってきました。その2日間(にかん)の様子(ようす)をお伝(つた)えます。

●集合(しゅうごう)、出発(しゅつぱつ)

早朝(そうちよう)の恵比寿駅(えびすえき)。集合時間(しゅうごうじかん)には多く(おほく)の参加者(さんかしゃ)が集(あ)まっていました。みんな仲間(なか)との久しぶり(ひさびさ)の再会(さいかい)に加え(くわ)、早く(はや)雪遊び(ゆきあそび)をしたい(したい)といった期待(きたい)からか、朝(あ)から元氣(げんき)いっぱい(いっぱい)でした。

●長野県(ながのけん)に入(い)ると

移動(いどう)中はバスレク(バスレク)や移(うつ)り変(か)わる景色(けしき)を眺(なが)めたり、隣(とな)同士(どうし)でお話(わ)したりと宿(しゆく)に着(つ)く前(まえ)から盛(も)り上(あ)がっていました。宿(しゆく)に近(ちか)づくにつれ路面(ろめん)や家々(いえいえ)の屋根(やね)に雪(ゆき)が積(つ)もり始め(はじめ)、高速(こうそく)を下(くだ)る頃(ころ)には辺(あたり)一面(いちめん)が雪(ゆき)にお覆(おお)われていました。途中(ちゆうちゆう)中(ちゆう)にチェーン(ちえん)をつけて(つけて)いる車内(くるまうち)では今(いま)か今(いま)かと焦(あせ)る気持(きもち)ちでいっぱい(いっぱい)でした。そんな中(なか)ついに目的(もくてき)地(ち)、菅平(すがひら)高原(こうげん)ホテル(ほてる)柄澤(がらさわ)に到(いた)着(ちゃく)しました。

●4つの昼(ひる)プログラム

宿(しゆく)の方(かた)から温(あたた)かく歓迎(かんげい)していただいた後(あと)、いよいよ昼(ひる)プログラム(ぷろぐらむ)の始(はじめ)まりです。今回(こんかい)は「クロスカントリー」、「そり」、「ホッ(ほ)と一息(ひといき)つける「ほっこりコース」、かまくら作(つく)りをする「雪(ゆき)の芸術(げいじゆつ)コース」がありました。

<クロスカントリー>

昨年(さくねん)好評(こうひやう)だったクロスカントリーを

今年(ことし)も開催(かいさい)！始め(はじめ)雪(ゆき)が多(おほ)かったので、板(いた)が雪(ゆき)に埋(う)もれたり、すぐ外(あ)れてしまっ(しま)たり、慣(な)れるまで時間(じかん)がかかりました。残り(のこ)りわずかな時間(じかん)で雪(ゆき)あそびお助け隊(たすけたい)が雪(ゆき)の中(なか)にお菓子(かし)を隠(かく)し、みんなで見(み)つけること(こと)をしました。中(なか)には隠(かく)した本人(ほんにん)が自(み)ら見(み)つけてしま(しま)い笑(わら)いを誘(さそ)っていました。

<そりコース>

ホテル(ほてる)が所有(しよゆう)するスキー場(しゆぎやう)の斜面(しゃめん)をそり(そり)で滑(すべ)りました。雪(ゆき)がと(と)てもサラサラ(さらさら)なのでまるで砂(すな)の上(うへ)を滑(すべ)っているよう(よう)な感(かん)覚(かく)に迫(せき)りよ(よ)くあるスピード(スピード)感(かん)、やわらかい雪(ゆき)の中(なか)に突(つ)っ込(こ)む好(こう)奇(き)心(しん)、二人(ふたり)で滑(すべ)ること(こと)などしてそり(そり)遊び(あそび)を楽(たの)しみま(ま)した。ふと休(きゆう)憩(けい)を(を)したかと思(おも)えば、またすぐ(つ)に疲(つか)れるまでそり(そり)遊(あそ)びを続(つづ)けていま(いま)した。

<ほっこりコース>

外(そと)でボール遊(あそ)びや*ドッジビー(どっじびー)をして、宿(しゆく)の方(かた)が事(じ)前(ぜん)につく(つく)って下(くだ)さったかまくら(かまくら)の中(なか)では記念(きねん)撮(と)影(えい)を(を)しました。ロビー(ロビー)では、温(あたた)かい飲(の)み物(もの)を飲(の)んだり、みんなと話(わ)がたくさん(たくさん)できて充(じゆう)実(じつ)した時間(じかん)を過(す)ぎま(ま)した。

<雪(ゆき)の芸術(げいじゆつ)コース>

スコップ(スコップ)を借(か)り、積(つ)まれた雪(ゆき)に穴(あな)を掘(ほ)りかまくら(かまくら)作(つく)り開(あ)始(し)！降(ふ)り積(つ)もる雪(ゆき)と格(かく)闘(とう)し、ひたすら穴(あな)を掘(ほ)り進(すす)めま(ま)した。交代(こうたい)しながらみんな(みんな)で力(ちから)を合(あ)わせ、無(む)事(じ)かま(ま)くらを完(かん)成(せい)させま(ま)した。

●今年(ことし)の夜(よる)プログラム(ぷろぐらむ)は一味(いち)違(ちが)う！

ここ(ここ)でも雪(ゆき)あそびお助け隊(たすけたい)登(た)場(じやう)！司会(しかい)になり会(かい)場(じやう)を盛(も)り上(あ)げま(ま)した。間違(まちが)い探(さが)しゲ-ム(げ-む)や万(まん)歩(ほ)計(けい)を時間(じかん)内(ない)に何(なん)回(かい)振(ふ)れるのか(のか)を競(き)いま(ま)した。

班(はん)で協(きょう)力(りき)し初(はじ)め(め)の1分(ふん)間(かん)で15種(しゆじゆ)類(れい)の絵(え)を覚(おぼ)え、次(つぎ)に出(い)てき(き)た絵(え)とど(どこ)が変(へん)化(か)し

たかを当てていきました。問題に正解していくごとにポイントが加算され、最後に集計し結果発表！みんなを巻き込む演出に加え、あれやこれやと意見が白熱し、大いに盛り上がりました。



【万歩計を思い切り振り振り！】

●2日目昼プログラムでも雪あそびを満喫

今年はプログラムが4つもあったので、初日に体験しなかったことを翌日に体験したり、2日連続でやったりして、1日目とは違った発見や交流がありました！そりで競争したり、雪に絵を描いたり最後の最後まで雪あそびを満喫しました。

●参加者の感想

★2日間、楽しい雪あそびになりました。クロスカントリーは、最初は、板と靴との装着がなかなかできなかつたけど2日目は、上手くできました。寒かったけれど、楽しい雪あそびでした。(恵美博宣)

★今回初めて雪あそび合宿に参加しました。めっちゃ楽しかったです。また来年も参加したいです。来年のプログラムは「飲みプロ」を入れましょう。(奥山 信彦)

★僕は、今回の合宿に初めて参加しました。雪が多く、クロスカントリーは出来ませんでした。次の日にソリ遊びをしたり夜プロでは司会もやり、楽しい経験が出来ました。(長谷川 昇)



【かまくらの中でほっこり】

●雪あそび合宿を終えて

実行委員長として様々な課題に直面しました。昨年は実行委員として携わってききましたが、委員長はととても大変で挫折そうになりました。しかし、その度に実行委員や雪あそびお助け隊の方々に助けていただきました。

今年目標は、「参加者みんなが楽しんで、みんなが積極的に参加し笑顔になる雪あそび」と考えていました。当日の参加者の笑顔や笑い声、閉会式での楽しかったといった声を聞き、課題は多々ありますが、参加者みなさんと2日間無事に楽しむことに全力を注いだと思えます。3か月間常に一緒に過ごした実行委員、そして雪あそびお助け隊、参加者一人ひとりにありがとうと伝えたいです。

最後に渋谷区社会福祉協議会様、菅平高原ホテル柄澤様、ぱれっと親の会様、ぱれっと倶楽部様、その他多くの皆様より第30回えびす雪あそび合宿を開催するにあたり、ご協力やご寄付を頂きました。誠にありがとうございました。紙面をお借りし、厚く御礼申し上げますと共に、無事終了しましたことをご報告致します。

第30回えびす雪あそび合宿実行委員長
竹田 伸一